

## <期待される効果>

- 水稻栽培において、多くの労力を費やす水管理作業の時間と人手を軽減します。  
※ 自宅や作業場から離れている圃場に設置すると効果的
- 無駄な給水・排水を減らすことで、用水の効率的な活用ができます。(渇水時の効果大)
- 正確な水管理が可能となり、初期成育促進や高温障害対策など品質向上の効果も期待できます。

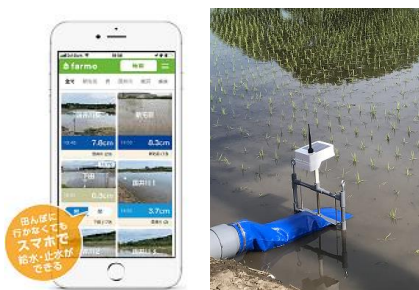
## <主な装置の種類>

### 給水のみ

#### 農匠自動水門 (クレインマシナリー関東株)



#### 水田ファーモ (株farmo)



田んぼに  
行くだけで  
スマホで  
給排水を  
操作できる

#### 【特徴】

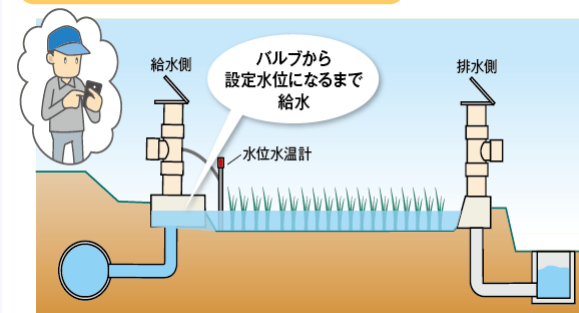
- 圃場の水位によって、ホースや筒内のシャッターが上下することで、給水と止水を自動でおこなう。
- 水位センサーと連携させ、水入口から流れる水の給水・止水をスマートフォンからおこなえます。(水田ファーモ)
- 機能がシンプルのため低価格。
- 開水路・パイプライン専用タイプが多い。

### 給水＋排水

#### WATARASU (株クホ'タケミックス)



▲開水路の設置例



#### 【特徴】

- スマホやPCでモニタリングしながら、給・排水を遠隔操作する。(水温測定も可能)
- タイマー設定による間断灌漑やスケジュール運転など高度な水管理が可能。
- 給水タイプに比べ高額なうえ、別途通信料も必要。